

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公表番号】特表 2016-527175 (P2016-527175A)
 【公表日】平成 28 年 9 月 8 日 (2016.9.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-054
 【出願番号】特願 2016-530270 (P2016-530270)
 【国際特許分類】

C 0 4 B 16/12 (2006.01)

C 0 4 B 28/02 (2006.01)

C 0 4 B 16/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 4 B 16/12

C 0 4 B 28/02

C 0 4 B 16/04

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セメント質のバインダ、エネルギー的に改質されたセメント、又は、セメント混合物のいずれかの硬質なマトリックス内の骨材から形成された複合構造材料であって、前記骨材は粒状物質であり、各粒子は、3 次元の骨材粒子を形成するように、中央ハブから外側に向かって、放射状に対称的に延在する少なくとも 3 つの放射状脚部を有しており、前記脚部が、前記中央ハブに最も近い位置において、前記中央ハブの直径 / 幅よりも小さい直径を有しており、前記中央ハブは、前記脚部の間に配置された、暴露される表面部分を有しており、前記表面部分は表面外形を含んでおり、前記複合構造材料は、約 1 . 0 % v / v から約 1 5 . 0 % v / v の量で前記骨材を含んでいる、複合構造材料。

【請求項 2】

前記骨材を、約 2 . 0 % v / v から約 7 . 5 % v / v の量で含んでいる、請求項 1 に記載の複合構造材料。

【請求項 3】

前記骨材を、約 2 . 5 % v / v から約 5 . 0 % v / v の量で含んでいる、請求項 1 に記載の複合構造材料。

【請求項 4】

1 つ以上の脚部が、他の脚部とは異なる寸法及び / 又は形状を有している、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の複合構造材料。

【請求項 5】

前記脚部が、円筒形、円錐形、又は円錐台形であり、円錐形及び円錐台形の種類においては、前記中央ハブから遠ざかるにつれて直径が減少する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の複合構造材料。

【請求項 6】

いくつかの脚部が円筒形状に形成されており、いくつかの脚部が円錐台形に形成されている、請求項 5 に記載の複合構造材料。

【請求項 7】

前記脚部の自由端が、平面を有しているか、又は、曲面（凸状若しくは凹状の表面）、球根状の球状端部を有しているか、又は、とがっている、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の複合構造材料。

【請求項 8】

前記中央ハブが、概ね球状、概ね円筒状、又は、概ね立方体状の形を有している、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の複合構造材料。

【請求項 9】

前記表面外形が凹部である、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の複合構造材料。

【請求項 10】

前記骨材粒子が、ポリスチレン、高密度ポリエチレン（HDP E）、ポリエチレンテレフタレート（PET）、ポリ塩化ビニル（PVC）、ポリカーボネート、ポリプロピレン、又は、任意の高密度プラスチックから成る群から選択されるプラスチック材料であるか、成形可能若しくは鑄造可能な非プラスチック材料（フライアッシュ等）、またはこれらの材料の混合物である、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の複合構造材料。